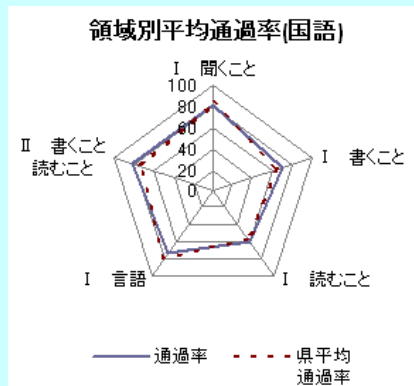
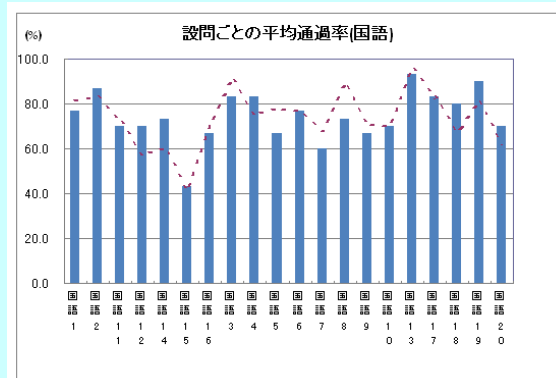


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 74.2%, 県 73.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向
国語の結果において、タイプⅠは 72.5%、タイプⅡは 80.8%の通過率となっている。概ね基礎的な力については、全体の約半数の人数が 80%以上の通過率であり、タイプⅡは県平均を 7 ポイント上回っている一方で 30%に大きく達していない生徒が 2 名いるなど、学力差が大きい。
- 昨年度の課題への取組みの成果
昨年度は、「書くこと」について課題がみられた。特に「叙述の仕方」については県平均を大きく下回った。そこで次の 2 点について取り組んだ。文章を書くとき読むときに主語を明らかにするというのを、丁寧に指導をしていった。また、単元や教材の学習のなかで必ずじっくりと「書く」活動を設定した。学力的にしんどい生徒には視写を丁寧にさせるなどを行った。結果「書くこと」に関しては、県平均を 5%上回った。

重点課題

- 【課題 1】 文語のきまりに関する問題が県平均を 16%下回っている。古語の意味を書いている生徒が多い。
- 【課題 2】 小4, 小5, 小6 の漢字についての読み書きについての問題が、県平均に達していない。同音異義語の区別がついていない。また、語句の知識が少なく「ならわし」という言葉が身につけていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

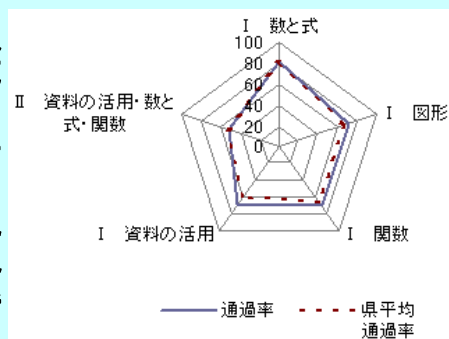
- 【課題 1】 文語のきまりについては、問題をしっかりと読んで答えていない生徒が多い。問題の意味も含めて、言葉に対する丁寧な指導を日々していかなくてはいけない。
- 【課題 2】 授業の導入部において、東書ウェブを使っての既習事項の復習を今よりも回数を増やしていきたい。また、言語に対する知識を増やすために、辞書を活用することを習慣化していく。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H26 基礎・基本	2年生 期末試験 (古文)		1年生 H26 基礎・基本	2年生 H26 全国学力
目標値			90%	80%		90%	80%
実施後数値			55%	56%		52%	80%

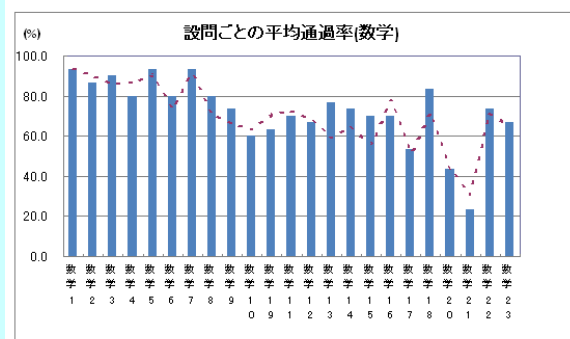
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H26 基礎・基本	2年生 漢字復習テスト (小学校4, 5年生)		2年生 漢字復習テスト (小学校6年生)	1年生 H26 基礎・基本
目標値			90%	80%		90%	80%
実施後数値			72%	89%		79%	68%

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 72.3%, 県 70.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向

タイプ I の通過率は76.7%, タイプ II の通過率は51.7%であった。また、無答率がタイプ I では平均1.2%, タイプ II では平均10.8%である。この結果から基礎的・基本的な内容については概ね定着が図られていると思われるが、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力が不十分である。

領域別に見ると、数と式の通過率81.2%, 図形の通過率71.7%, 関数の通過率70.0%, 資料の活用の通過率68.3%であった。資料の活用についての知識・理解が不十分である。

○昨年度の課題への取組みの成果

昨年度は、数量関係の法則、文字式による表し方、図形の定義と性質の理解に課題が見られた。文字式を使う問題の反復練習、図形の性質について数学用語を用いた表現の充実により、改善が見られた。

重点課題

【課題 1】

〔10〕表により与えられた数値や情報を読み取り、自分の考えを数学的な表現を用いて説明する問題で、問題解決の構想と結果の振り返りができず、条件に合わない式を答えた生徒が33%。(通過率23.3%)

【課題 2】

〔9〕総度数の異なる2つの資料の傾向を比較し、数学的な表現を用いて説明する問題で、「相対度数(割合)」に着目することができていない生徒が37%。(通過率43.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

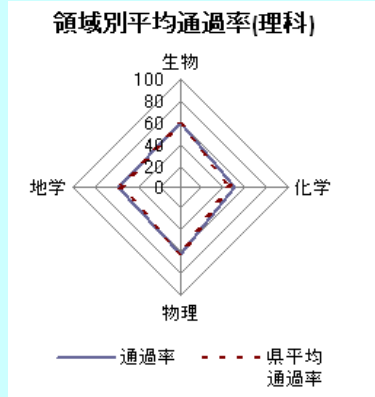
【課題 1】条件に適した文字式を構想し、構想した文字式に値を代入して式の値を求め、条件に適した式であるか振り返る問題に取り組ませる。また、式が何を表しているのかを考え相互に説明したり、式にあてはまる問題を作る活動を仕組んでいく。

【課題 2】資料の活用について学習する場面で、総度数の異なる2つの資料の傾向を比較する適切な教材を提示し、数学的な表現を用いて相互に説明しあう活動を仕組む。重要用語とその概念の定着を図るため、学習の終了後も家庭学習等で定期的に資料の活用に関する問題に取り組ませる。

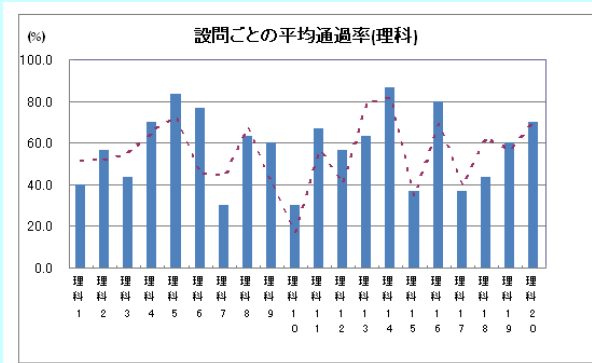
【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年・H26 基礎基本10		2年・H25 全国B1		1年・H26 基礎基本10	1年・H25 全国B1
目標値		50%		50%		50%	50%
実施後数値		45%		47%		47%	42%
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年・H26 全国A13(1)			2年・H26 基礎基本9		1年・H26 基礎基本9
目標値		75%			60%		60%
実施後数値		83%			64%		56%

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 57.7%, 県 55%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向

タイプⅠは、生物 56.7%、化学 52.2%、物理 65.6%、地学 75.6%の通過率であった。この結果から物理、地学分野の基礎的・基本的な内容はおおむね定着が図られている。一方、生物、化学分野では、実験観察の技能が十分身につけていない状況がある。

タイプⅡは、生物 63.3%、化学 46.7%、物理 58.3%、地学 33.3%の通過率であった。生物分野は、活用も概ね定着もしているようである。一方、化学の「溶質の再結晶」、物理の「実験結果の分析・解釈」、地学の「火山の形の推論」「地震距離の推定」に課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果

昨年度は、実験結果からの解釈等、地学分野の推論問題等に課題があった。実験・観察の結果考察等のレポート充実を図った。しかし、地学分野の空間的推論に大きな課題がある。

重点課題

【課題1】

○火山灰の成分から溶岩のねばりけについて推定し、溶岩のねばりけと火山の形を推論する問題に課題がある。本校の生徒の通過率 30%。(県通過率 44.7%)

【課題2】

○塩化ナトリウムの結晶を取り出す方法を科学用語「溶解度」「飽和水溶液」ということばを使って書く問題に課題がある。用語は使用しているものの論理的な説明になっていない生徒が多い。本校の通過率 30.0% (県通過率 17.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

○火山灰の成分から溶岩のねばりけや火山の形について関連付けて、まとめさせる。その際、イラストや表を補助教材として用意し、それぞれの知識をつなげ、まとめ、発表させる活動をさせる。

【課題2】

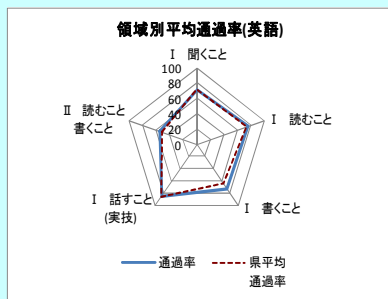
○再結晶に関する科学用語を用いて化学現象を説明させる活動や用語説明カードを作成させる活動を通して、正確な理解を図らせる。また、再結晶のグラフ等をもとに結晶を取り出す条件を科学用語も用いてレポートを書かせる。同時に実験を行い、再結晶の条件を実感させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習テスト			2年生 H26「基礎・基本」7		1年生 H26「基礎・基本」10	1年生 学年末試験
目標値	60%			65%		55%	70%
実施後数値	47.3%			39%		87%	87%

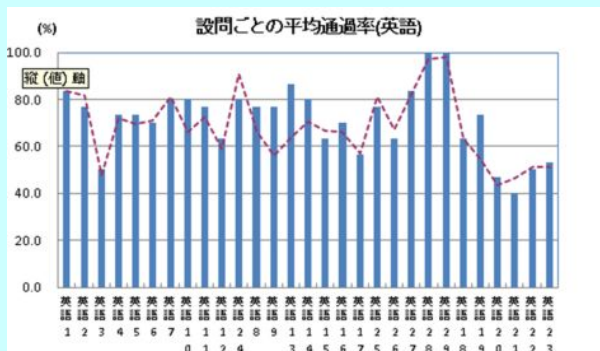
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習テスト		1年生 単元末評価問題	2年生 H26「基礎・基本」10		1年生 単元末評価問題	2年生 学年末試験
目標値	60%		55%	65%		55%	70%
実施後数値	47.3%		46%	22%		60%	31%

『基礎・基本』定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.3%, 県 68.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向

タイプⅠの通過率は、75.7%、タイプⅡの通過率は54.4%であった。この結果から、基礎的・基本的な内容については概ね定着し理解できているように考えられる。しかし、タイプⅡの活用問題になると、誤答率や無答率も高くなっている。表やグラフと照らし合わせながら長文読解をする力や必要な情報を用いて英作文する力、つながりのある英文を書く力などの活用力が不十分である。

○昨年度の課題への取組の成果

長文の読み取りや指示された文を書くことに課題が見られた。単語テストや基本文型テスト、短文ドリルに取組んだ。長文を読んで必要な情報を取り出す力には、まだ課題がある。

重点課題

【課題1】 やや長い対話文を読んで、必要な情報をつかみ、表を見ながら内容を把握する力に課題がある。曜日、教科、時間帯を確認しながら、条件に合う表を選び、英文を読み内容を把握する活用の力が弱く、誤答率が60.0%である。(通過率40.0%)

【課題2】 やや長い対話文を読んで、必要な情報を取り出し、まとまりのある一貫した英語の文章を正しく書く力に課題がある。動詞の三人称単数現在形や代名詞の使い方の誤答が多くある。(通過率53.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 教科書本文を理解させる学習内容の際、内容をつかむための必要な情報を取り出し、場面や時間にそってストーリー全体を読み内容を理解させる練習を行う。また、グラフや表などを用いた長文読解の練習を積極的に取り入れ、英文と表などを照らし合わせて読ませることで読む力、活用の力を育てる。

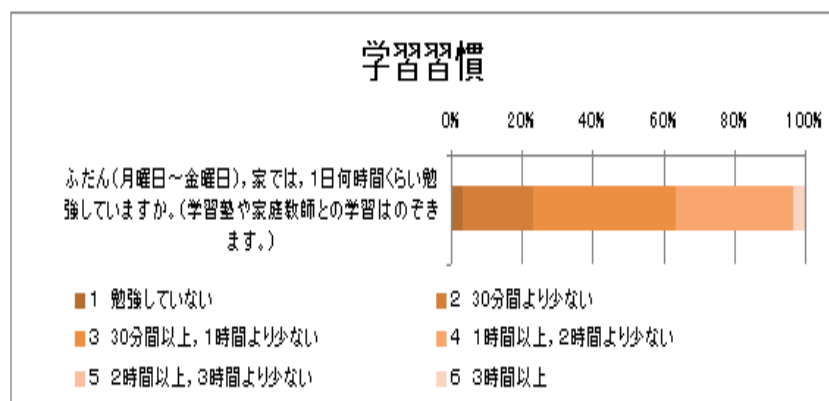
【課題2】 既習事項を活用して正しく書く力と、長文から必要な情報を用いてまとまりのある英文を書く力を育てるために、動詞や代名詞の使い方を再度指導を徹底させると同時に、あるテーマについてまとまりのある英文を書かせるための自己表現活動を増やす。また、やや長い対話文を読んで、必要な情報を取りだし、それらの情報を活用して他者紹介文を書く練習を行わせる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1. 2年生中間テスト		1. 2年生期末テスト	1. 2年生 三次市学力到達度検査		1. 2年生学年末試験
目標値		55%		55%	60%		60%
実施後数値		1年52%, 2年49%		1年65%, 2年57%	1年64%, 2年68%		1年45%, 2年62%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1. 2年生中間テスト		1. 2年生期末テスト	1. 2年生 三次市学力到達度検査		1. 2年生学年末試験
目標値		60%		60%	60%		60%
実施後数値		1年42%, 2年54%		1年52%, 2年56%	1年62%, 2年51%		1年42%, 2年54%

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

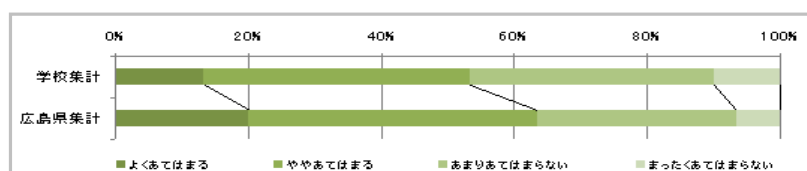
(1) 生活・学習



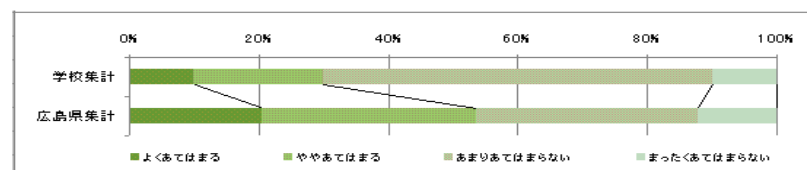
生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
<ul style="list-style-type: none"> 普段の家庭学習の時間が1時間以上の生徒が36.7%になる。(県平均50.6%) 家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自主学習ノート、吉舎中スタンダード(ルーティンチェック表)に取り組み、家庭学習習慣を身につける。 ②個に応じた自主学習ノートに取り組み、特に学力低位の生徒への個別対応(東書Web)を図る。 ③宿題やり切りタイムを実施し、提出物の徹底を図る。 	2	60%	生徒アンケートの実施	12月	37.6%	+0.9

(2) 教科

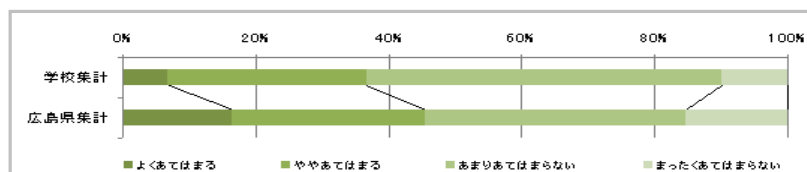
国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます



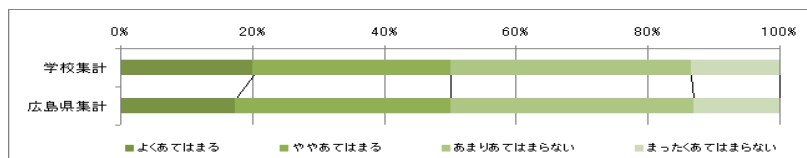
数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいると答えた生徒が、53.3%と県平均を約10%下回った。	「読むこと」の授業の中で、段落と段落の関わりを意識して、文章を読み取っていくことを繰り返し指導していく。また、接続詞の働きを意識するような問題をさせていく。	2	60%	生徒アンケートの実施	12月	57%	+3.7
数学	「数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。」(30%)	方程式の学習を中心に、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作り、相互に説明しあう活動を仕組んでいく。	2	50%	生徒アンケート調査	12月	47%	+17
理科	授業中に自分の考えを説明したり発表したりする生徒は36.6%である。(県平均45.5%)	実験や観察の結果や現象について、自分の考えを科学用語を用いて説明・発表などさせる。又、考えをレポートにまとめさせる活動を仕組んでいく。	2	60%	生徒アンケート調査	12月	41.4	+4.8
英語	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。(50%)	リスニングの練習の際には、メモをとりながら英語を聞く練習を積み重ねる。また、個人が書いた英作文を互いに読みあい、感想を伝え合う活動を仕組む。	2	60%	生徒アンケート調査	12月	53.3	+3.3